

南海トラフ地震臨時情報が発表されたら

—県民の皆様へのお願い—

南海トラフ地震臨時情報について

- ・南海トラフ地震は、これまで90年～150年周期で繰り返し発生していますが、1854年の安政南海地震は、安政東海地震から約32時間の間隔をおいて発生するなど、**時間差で大規模地震が発生**したこともあります。
- ・時間差で発生する大規模地震に備え、**あらかじめ避難などの対策を講じる**ことで**助かる命があります**。
- ・南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合には以下の流れで気象庁から**「南海トラフ地震臨時情報」**が発表されます。
- ・次の大規模地震に備え、国や地方公共団体などの呼びかけ等に応じた防災対応をとしましょう。

南海トラフ地震臨時情報発表の流れ

南海トラフの想定震源域またはその周辺で
M6.8以上の地震が発生

南海トラフの想定震源域のプレート境界面で
通常とは異なる
ゆっくりすべり※1が発生した可能性

※1 ゆっくりすべりとは、住民が揺れを感じることがない、プレート境界面のゆっくりとしたずれによる地殻変動のことをいいます。

南海トラフ地震臨時情報（調査中）

プレート境界の
M8.0以上の地震

M7.0以上の地震

ゆっくりすべり

それ以外

巨大地震警戒

巨大地震注意

調査終了

皆様に防災対応をとっていただくようお願いする場合

通常の生活を送ってください。
ただし、大規模地震が起きる
可能性がなくなったわけでは
ありませんので、日頃から地震
への備えをお願いします。

皆様におすすめする**防災対応の内容**は裏をご覧ください



皆様にお願ひする防災対応

巨大地震警戒 発表時

○1週間の避難をお願いする方

- 津波からの避難が間に合わない一部の地域にお住まいの方は、市町村が指定する避難所等へ1週間の避難を！（※4）

○避難の対象でない方

- 『日頃からの地震への備え』を再確認（地震が発生したらすぐに避難する準備を！）
- 日常生活を継続していただいで結構です。

※3 ゆっくりすべりが観測された場合は、1週間ではなく、それが収まったと評価されるまで

※4 津波避難困難地域に居住している方

地震発生から30分以内に、30cm以上の津波の浸水が生じる地域に居住する要配慮者の方（対象地域については市町村にお問い合わせください）

巨大地震注意 発表時

○『日頃からの地震への備え』を再確認願ひします。



○日常生活は継続していただいで結構です。



1週間（※3）

1週間～2週間

○『日頃からの地震への備え』を再確認願ひします。

○日常生活は継続していただいで結構です。



○地震の発生に注意しながら日常生活を送ってください。

○大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではありません。

○地震の発生に注意しながら日常生活を送ってください。

○大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではありません。

2週間～

日頃からの地震への備えについて

臨時情報の発表の有無にかかわらず、日頃から地震への備えをお願いします（以下の項目をチェックリストにお使ひください。）

- ☐ 家具の固定 ☐ 非常用持ち出し袋の準備 ☐ 水や食料の備蓄
- ☐ 避難場所や避難経路の確認 ☐ 地域のハザードマップの確認
- ☐ 家族との連絡手段の確認 ☐ 住宅の耐震化 ☐ 感震ブレーカーの設置 など

※下線を引いた項目については、『防災ナビ』アプリでご確認いただけます。



和歌山県では、災害時・災害の備えにも役立つ『防災ナビ』アプリを配信しています。日頃からの災害への備えにご活用をお願いします。



「防災ナビ」アプリの登録は上記QRコードから